

# HOT LIFE NEWS



清水勝市議会レポート

2016.7.1

【発行】市民フォーラム 市議会報告  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24  
HOT LIFE NEWS 清水勝市議会レポート No.9



## 平成28年府中市議会第2回定例会終了

6月3日(金)～6月20日(月)の18日間の日程で平成28年府中市議会第2回定例会(6月議会)が開催されました。一般質問は23名34件が発言され、各常任委員会全体では議案6件が可決、報告3件が了承され、陳情については3件が継続審査となりました。

### 6月定例会(所属委員会報告)

5月12日に府中市議会臨時会が開催され、常任委員会は文教委員会委員、特別委員会は市庁舎建設特別委員会副委員長に選出された。所属する委員会の定例会報告は以下の通り。

#### 文教委員会

付議事件(議案)1件、府中市立学校給食センター新築に伴う厨房設備工事(その2)請負契約について審議され可決された。

協議事項(報告)1件、府中市立学校給食センター新築に伴う昇降機設備工事等の契約状況について審議され了承された。

学校給食センター新築ならびに府中の森芸術劇場改修に伴う昇降機について、東芝エレベータが採用され契約がされた。

#### 市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設の状況については、敷地購入進捗状況や技術支援委託業者、地盤調査、設計進捗などが報告され承認された。

### 地域活動等

①北府中駅南側の市有地に自転車の不法投棄があり、市担当部署に連絡し撤去していただいた。



②東芝府中北門横街道ならびにオートバックス武蔵台南側の樹木、雑草が伸び、通行の妨げになっていることから市担当部署に連絡し、対応していただいた。

東芝府中  
北門横街道



オートバックス  
武蔵台南側



③分倍河原駅南ロータリー周辺の歩道等のタイルの破損や凸凹がひどく、安全に通行するため市担当部署に連絡し、補修工事をしていただいた。



分倍河原駅南  
ロータリー周辺



④ラグビーのまち府中の推進の一環として、東芝プレイブルーパスのオリジナルポロシャツを東芝ビジネス&ライフサービス(株)と連携し斡旋するとともに市担当部署と今後の方向性について協議を行った。

## ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けて、府中市の今後の対応について

**Q** 2019ラグビーワールドカップならびに2020オリンピック・パラリンピックに向けての準備が加速し動き出した。大会気運醸成やイベントの実施、大会に向けてのPRを行い、キャンプ地誘致の取り組み、東京都をはじめ近隣自治体や各種委員会、トップチームとの連携を含めて取り組んで行く時期になってきた。そこで、スポーツタウン府中、そしてラグビーのまち府中を目指す府中市として、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けて、府中市の今後の対応について具体的な事業、取り組みについて、以下の質問をする。



- (1) ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けて、東京都や大会組織委員会との連携による事業内容について
- (2) キャンプ地誘致の考え方についてまた、練習施設、宿泊施設等の整備について
- (3) 具体的な誘致スケジュールについて
- (4) 市内を拠点とするトップチームとの連携について
- (5) ボランティア育成の考え方について
- (6) 地域に根差したスポーツタウン府中のさらなる発展の取り組みとラグビーのまち府中のための施策について
- (7) 東京オリンピック・パラリンピック教育推進校の事業目的と事業内容について、また、H27年度実施した成果と課題について

**A** 【市長答弁】 私から、(6)の「地域に根差した『スポーツタウン府中』のさらなる発展の取組と『ラグビーのまち府中』のための施策」について、お答えする。

本市では、地域に根差した「スポーツタウン府中」の更なる発展を重点事業の一つとして位置付け、市民が身近な場所で気軽にスポーツに取り組める環境を整えるとともに、地域のスポーツ関係者や市内のトップチームとの連携・協働により、ボールふれあいフェスタやみんなのスポーツdayなど、様々な事業を展開している。

なかでも、東芝ブレイブルーパスやサントリーサンゴリアスという、世界に誇るラグビーのトップチームが2チームも存在し、かつ、日頃からこれらのチームとの連携・協働による事業を実施できていることは、本市だけの特色であり、強みであると捉えている。

このことから、「ラグビーのまち府中」のための施策については、この強みを最大限に生かし、学校の授業やクラブ活動でのタグラグビーの実施など、子どもたちがラグビーに触れる機会を充実させるとともに、府中ダービーマッチやラグビーフェスティバルなど、様々な事業を幅広く展開し、市民がトップチームを身近に感じることが出来る機会をより多く創出することにより、市民とともに「ラグビーのまち府中」を推進していきたい。

その他のご質問につきましては、担当部長からお答えする。

### 【政策総務部長答弁】

(1) 両大会とも、連携の対象は、基本的に東京都のオリンピック・パラリンピック準備局となっている。併せてそれぞれの大会組織委員会とも随時連携を取っている。

具体的には、ラグビーワールドカップでは、昨年度実施したパブリックビューイングや5月28日に実施した「府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル」、6月25日に味の素スタジア

ムで開催される日本代表対スコットランド代表戦に併せて実施する「ラグビーフェスティバル 2016&TOKYO」などの気運醸成事業への連携、キャンプ地誘致に向けた情報交換などを行っている。

オリンピック・パラリンピックでは、大会への気運醸成や施設整備に伴う都補助金の活用や都が実施するパラリンピック普及啓発事業「NO LIMITS CHALLENGE」(ノー・リミツ・チャレンジ)の事業連携などがある。

(2) キャンプ地誘致は、ラグビーワールドカップやオリンピックにおける7人制ラグビーを踏まえ、ラグビー競技の誘致を進める。オリンピックでの他の競技も市内のスポーツ競技団体等とも協議を進めながら、今後、具体的な競技種目等を選定し、誘致に取り組んでいく。

現在、昨年度作成した「府中市スポーツキャンプガイド」等を活用して、トップチーム等の関係者の協力をいただきながら、随時、各国、各競技団体へのPR活動を進めている。また、練習施設、宿泊施設等についても、キャンプ地に必要な施設を選定するとともに、必要に応じて整備等にも対応していく。

(3) ラグビーワールドカップは、本年5月にラグビーワールドカップ2019組織委員会より、キャンプ地募集要項であるガイドラインが発表されたので、現在、そのガイドラインに基づき申請の準備をしている。

今後、本年8月から申請を受け付け、組織委員会による選定プロセスが開始され、各国との調整は全て組織委員会が行うとされている。

また、オリンピック・パラリンピックは、国際競技連盟が定めた基準、「IF基準」を満たす競技施設を組織委員会が候補地ガイドに登録し、公開される。本市ではIF基準を満たす施設が抽出できていないことから、この登録を行っていない。しかし、事前キャンプは、必ずしもIF基準を満たしていることが誘致決定の条件とはなっていないことから、本市の受入

れ条件を提示する中で、国及び競技団体との交渉を行うことによる誘致活動を進めていく。

(4) 市長から答弁したラグビーを始め、本市には数多くのトップチームが本拠地として活動していただいているので、ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成事業やキャンプ地の誘致等については、これらのトップチームの選手を始め、関係者のお力を最大限に活用させていただきながら、推進してまいります。

(5) 都は、東京オリンピック・パラリンピックでは、都市ボランティア・大会ボランティアを合わせて、約9万人のボランティアが必要であるとしている。ラグビーワールドカップ2019も、東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに先行的に協力をお願いするほか、ラグビーワールドカップ2019組織委員会においても独自にボランティアを募集する

と伺っている。

東京都が随時実施している「外国人おもてなしボランティア」や「ボランティアに関するシンポジウム」などを積極的に市民に周知するほか、今後は、スポーツ祭東京2013開催時に培ったノウハウ等を活かし、本市が独自に開催するボランティア育成のための事業等についても検討していきたい。

#### 【教育部長答弁】

(7) 事業目的は、東京大会開催を踏まえ、児童・生徒がスポーツにより心身の調和的な発達を遂げ、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、国際親善など、その果たす役割を正しく理解し、日本と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、交流することを通して国際理解を深め、進んで平和な社会の実現に貢献することができる児童・生徒を育成することとしている。

28年度の事業内容としては、学習指導要領の目標達成を目指し、各教科等の学習内容にオリンピック・パラリンピック教育を関連付け、「その精神」、「スポーツ」、「文化」、「環境」の4つのテーマと「学ぶ」、「観る」、「する」、「支える」の4つのアクションを組み合わせた取組を展開する。27年度実施した成果としては、市内トップチームによるラグビー教室の開催や各校の様々な取組による体力向上をはじめ、オリンピック・パラリンピック開催を踏まえ、パラリンピアン招聘や各種講演会の開催による努力することの大切さの意義や思いやり・おもてなしの心などの醸成、留学生やインターナショナルスクールとの交流を通じた国際理解が図れたことなどが挙げられる。

課題としては、適切な指導者や講師など、人材を探すことが困難な場合があること、今年度から東京都では年間35時間程度を目安としているが、現状の教育活動の中で、どのように関連付けるかが挙げられる。



**Q** (1) 両大会ともに東京都の準備局とそれぞれの大会組織委員会とも随時連携を取り、大きく準備活動が動き出している。引き続き、各方面との連携を取りながら進めていただきたい。

(2) キャンプ地誘致については、世界トップレベルのチームの招聘をすることにより、子どもたちのみならず近隣市含めて市民に大きな夢と希望を与えてくれる。実現に向けて必要な整備を力強く進めていただきたい。

(3) 誘致のスケジュールについては、それぞれの動きを周知するなど広く市民にアピールしていく必要もある。広報紙や号外等の紙面発行等によるPRの検討もお願いしたい。

(4) 特にトップチームが市内に2つもあるラグビーのキャンプ地誘致の実現に向けて、さらなる連携を図っていただきたい。グラウンドの府中市への期間中の貸与など協力は惜しまないのでよろしくお願いいたします。

(5) 府中市が独自に開催するボランティア育成のための事業等、しっかりとした養成計画を策定し、進めていただきたい。

(6) 市長から答弁をいただいた、府中市における、地域に根差した「スポーツタウン府中」の更なる発展を重点事業の一つとして位置付け、様々な事業を展開していることについてさらに理解を深めた。

「ラグビーのまち府中」については、寄付等によるモニュメント設置など「ラグビーのまち府中」を象徴するような施策や観光協会、商業施設と連携し、「スポーツタウン府中のコーナー」を設置し、チームグッズの販売なども考えられる。東芝ブレイブルーバスやサントリーサンゴリアスという、世界に誇るラグビーのトップチームとの日頃からの連携・協働による事業をさらに進め、「ラグビーのまち府中」と全国的にも広くPRできるよう、キャンプ地誘致の活動とともに引き続き、取り組んでいただきたい。

(7) 事業が順調に成果をだしていることがわかった。今後も市内トップチームと学校、行政が協力しながら、両大会に向けた事業推進をしていただきたい。

1回目の質問、答弁を踏まえ、さらに2回目の質問を3点お伺いしたい。

(1) ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けての事業内容の中で、府中市の魅力をアピールす



るにあたっての取り組みは、どのようなものがあるか？

- (2) 東京都のパラリンピック普及啓発事業の事業連携では、どのような取り組みを考えているか？また、府中市内にもパラリンピックの強化選手がいると聞いているが、選手との連携などの取り組みはあるか？
- (3) 教育推進校の事業として、H27年度では具体的にどのような取り組みをしてきたか？主にラグビー教室の他のスポーツ関連についてご紹介いただきたい。

## A 【政策総務部長答弁】

(1) 国や都は、「ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックについては、スポーツの祭典のみならず、文化の祭典でもある」として、「史上最大規模の文化プログラムに取り組むことで、国内外の人々を日本文化で魅了したい」としている。

本市においても、両大会を、本市が誇る歴史や文化を、市内外に発信するための重要な機会と捉え、国や都と連携して、様々な取組を進めていきたい。

一例として、6月25日に味の素スタジアムで開催されるラグビー日本代表戦に際して、競技場東側のアジパング広場で行われる「ラグビーフェスティバル 2016&TOKYO」で本市を代表する伝統芸能「府中囃子保存会」に出演を依頼して、府中囃子を披露いただく。

(2) 都は、パラリンピックの魅力を体験できるプログラム「NO LIMITS CHALLENGE (ノー・リミッツ・チャレンジ)」を展開している。本市では、10月に府中公園で実施する「福祉まつり」でパラリンピックの普及啓発を行う予定となっている。

また、6月12日に総合体育館で実施する「ボールふれあいフェスタ」では、パラリンピック種目の1つであるブライ

ドサッカーのエキシビションを実施する予定である。都からブラインドサッカーを始めとする障害者スポーツを紹介するパネルや機材の展示、PR映像などを借用し、パラリンピックの普及啓発に努めていく。

次に、市内のパラリンピック選手との連携の取組については、パラリンピック選手や監督など、関係する皆様に本市のイベントに参加いただくほか、市内の各学校におきまして、講演会や児童・生徒への体験事業に協力いただくなど、パラリンピックの普及事業に様々な形で携わっていただいている。

## 【教育部長答弁】

(3) 具体的には、府中第二小学校では、車椅子バスケットボールのパラリンピアンを招き、障害を乗り越えて夢をつかんだ講演会の開催や元世界選手権体操・女子日本代表選手によるマット運動の模範演技と実技指導、府中第五小学校と府中第六中学校では、日本ダブルダッチ協会による講習会を開催した。武蔵台小学校では、ゴールボールのパラリンピアンと同協会による競技の参観及び体験を実施した。

市内トップチームによるサッカー教室を開催した学校が2校とラグビー教室を開催した小学校が7校がある。

## 意見

今回は、2019ラグビーワールドカップ、2020オリンピック・パラリンピックに向けて、府中市の今後の対応についてお伺いしたところ、大会気運醸成への多くの取り組み、キャンプ地誘致の進捗状況をはじめとし、市内トップチームとの連携など含め、現状を理解することができた。

キャンプ地誘致については、高野市長も公約に掲げ、府中市もまさにこれからの取り組みとなる。多くの市民が期

待している中で、まだまだ課題もある。市内トップチームや協会、組織委員会、そして近隣市とのさらなる連携、協力をし、世界トップレベルの選手とふれあえる機会創出のため、キャンプ地誘致の実現、そして「スポーツタウン府中」「ラグビーのまち府中」に向けて、力強く取り組みを進めていただくようお願いしたい。



## 府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ  
1983年 山梨県立甲府工業高校卒/㈱東芝府中工場入社/コンピュータ製造・試験・工程管理  
1994年~2015年  
◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・電機東京役員/◆府中市各種審議会委員等を歴任  
2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)  
◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問  
◆市議会  
2015年度 建設環境委員会副委員長  
2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長②/議会報編集委員会委員②/府中市交通安全対策審議会委員②/府中市総合計画審議会委員/三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会委員(道路)②



■清水勝HP  
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>  
■Facebook  
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に  
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内  
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com